

## 田中 安行先生

## 《年譜》

- 1949年 3月 高知県立中村高等学校卒業  
 1949年 4月 東京外事専門学校専修科英語科入学  
 1949年 7月 東京外国語大学ドイツ学科入学  
 1951年 3月 東京外事専門学校専修科英語科修了  
 1953年 3月 東京外国語大学ドイツ学科卒業  
 1953年 5月 東京都荒川区立第八中学校教諭  
 1962年 4月 東京都武蔵野市立第三中学校教諭  
 1965年 4月 東京都立小金井工業高等学校教諭  
 1965年 4月 国際基督教大学大学院聴講生  
 1969年 4月 東京都立立川高等学校非常勤講師 1970年 3月まで勤務  
 1970年 4月 東京都立立川高等学校教諭  
 1972年 4月 東京都立国立高等学校非常勤講師 1974年 3月まで勤務  
 1972年 7月～9月 国際教育交換協議会で英語教育研修 (テキサス大学)  
 1980年 7月～9月 Goethe-Institut奨学金でドイツ語教育研修 (ベルリン他)  
 1989年 3月 東京都立立川高等学校教諭定年退職  
 1989年 4月 東京都立立川高等学校嘱託 1993年 3月まで勤務  
 1989年 4月 共立女子薬科大学非常勤講師 1991年 7月まで勤務  
 1989年 4月 大妻女子大学文学部及び家政学部非常勤講師 1993年 3月まで勤務  
 1989年 4月 法政大学文学部非常勤講師 1995年 3月まで勤務  
 1991年 4月 大妻女子短期大学非常勤講師 1992年 3月まで勤務  
 1993年 4月 白梅学園短期大学教養科助教授  
 1994年 4月 白梅学園短期大学教養科教授  
 1999年 3月 同短期大学を定年退職



## 《著作目録》

## (論文)

- 1965年 3月 「L.H.スミス著『児童文学論』について」(『教育の泉』号数不明、教育の泉社)  
 1970年10月 「自主教材を取り入れた授業」(『新英語教育』第53号、三友社出版)  
 1972年 6月 「What Do We Mean by Creative Teaching?」(『新英語教育』第62号)  
 1974年 2月 「授業と教材について」(『新英語教育』第72号)  
 1974年 4月 「“NON-GRADED SCHOOL”について」(『アメリカの国語教科書』ほるぶK.K.)  
 1974年 4月 「自己表現について」(『英語教育』第28巻第4号、大修館書店)  
 1975年 6月～7月 「Little Da of Vietnamの集団英訳一上・下」(『新英語教育』第80-81号)

- 1977年 8月 「文部省学習指導要領30年のあゆみ」(『新英語教育』第95号)
- 1977年 6月 「アメリカ国語教科書について」(『新英語教育』第93号)
- 1977年10月 「生徒を主人公にする英語教育」(『新英語教育』第97号)
- 1978年 6月 「教育実習生のために」(『新英語教育』第105号)
- 1979年 6月 「読みを深めるために」(『新英語教育』第117号)
- 1980年 6月 「教材を通してのHelen Keller」(『新英語教育』第129号)
- 1983年 1月～1986年 9月 *Why and Gee!—Cross-Cultural Conversations* (英文) (45回連載)  
(『新英語教育』第160号～第204号) (共著)
- 1986年 9月 「高校ドイツ語教育のある試み」(『ドイツ語教育部会報』29号、日本独文学会教育部会)
- 1986年10月～1987年 3月 「自己表現をひきだす」(6回連載)(『新英語教育』第205号～第210号)
- 1987年 4月 「アメリカの社会科教科書・英語科での活用—米国高校授業改革の中に見る」  
(『アメリカの社会科教科書』ほるぶK.K.)
- 1987年 6月 「生徒の知的関心をうながす」(『現代英語教育』第24巻第3号、研究社出版)
- 1987年12月 「多読指導における読みとり」(『新英語教育講座』三友社出版)
- 1987年12月 「発問で深い読みとりへ」(『新英語教育講座』)
- 1988年 2月 「高校における自己表現学習」(『新英語教育講座』)
- 1988年 2月 「英会話でも自己表現を」(『新英語教育講座』)
- 1988年 3月 「これからの高校外国語教育」(『現代英語教育』第24巻第12号)
- 1989年 9月 「表現意欲を伸ばす工夫」(『現代英語教育』第26巻第6号)
- 1990年 6月 「ドイツ語と英語を教えて」(『高校ドイツ語教育研究会会報』第2号)
- 1991年 3月 「親から聞いた戦時中の教育—学生の調査にみる—」(『教育学会誌』、法政大学教育学会)
- 1991年 5月 「英詩による自己表現」(『現代英語教育』第28巻第2号)
- 1992年 9月 「自己表現レポートから学んだこと」(『新英語教育』第277号)
- 1993年 3月 「*The Real Times*を使って」単著 (*NIE UPDATE*, The Japan Times社)
- 1993年 6月 *Wie kann man japanische Oberschüler im Deutschunterricht motivieren?* (独  
文) (『高校ドイツ語教育研究会会報』第5号)
- 1993年10月～94年 3月 「『英語科教育法』クラスより」(6回連載)(『新英語教育』第290  
号～第295号)
- 1994年 3月 「エミリー・ディッキンソンの詩の変容」(『白梅学園短期大学紀要』30号)
- 1994年 6月 「英詩を扱うねらいと選び方」(『現代英語教育』第31巻第3号)
- 1995年 3月 「子ども期の発見と子どもの本の出現」(『白梅学園短期大学紀要』31号)
- 1995年 5月 「教員養成教育を考える」(『新英語教育』第309号)
- 1996年 2月 「自己表現実践の歩み」(『新英語教育』第318号)
- 1996年 3月 「グリム理解へのある試み—ドイツ語人形劇指導の20年」(『グリム研究』、  
日本グリム協会)
- 1997年 3月 「海外語学研修実施の報告—英国リーズ・メトロポリタン大学語学センター」  
(『白梅学園短期大学紀要』33号)

- 1997年4月 「子どもの認識力を深め、思考力を高める—『自己表現講座』に学ぶ」(『新英語教育』第329号)
- 1998年3月 「学ぶ権利と授業評価」(『新英語教育』第343号)
- 1999年3月 「カナダ児童図書館と児童文学のあゆみ」(『白梅学園短期大学紀要』35号)

## (著書)

- 1971年1月 『高校の外国語教育』共著 三友社出版
- 1971年8月 『日本の外国語教育71』共著 三友社出版
- 1972年2月 『高校の授業と集団づくり』共著 明治図書
- 1972年7月 *What Do We Mean by Creative Teaching?* (英文) 単著 三友社出版
- 1972年8月 『日本の外国語教育72』共著 三友社出版
- 1973年8月 『日本の外国語教育73』共著 三友社出版
- 1973年8月 *Teaching English in Japanese Secondary Schools* (英文) 共著 三友社出版
- 1981年7月 『みんなの英語』(全10巻) 共著 三省堂
- 1985年8月 『意欲を育てる高校英語の授業』共著 三友社出版
- 1987年8月 『生徒と創る英語の授業』単著 三友社出版
- 1987年8月 『ロングマン現代英英辞典』(新版) 一使用の手引き 単著 桐原書店
- 1987年12月 『英語教育教材事典・楽しく学ぶ英語の教材』共著 大修館書店
- 1988年2月 『新英語教育講座』(全20巻) 共著 三友社出版
- 1989年8月 『国際化時代の英語教育』共著 三友社出版
- 1990年4月 『英語と平和』共著 桐書房
- 1990年8月 『自己表現—生徒の願いをひきだす』共著 三友社出版
- 1992年2月 『ロングマン・アクティブ英英辞典』(新版) 一使用の手引き 単著 桐原書店
- 1993年3月 『ロングマン現代英英総合辞典—英語と文化情報』一使用の手引き 単著 桐原書店
- 1995年7月 『ロングマン現代英英辞典』(3訂新版) 一使用の手引き 単著 桐原書店
- 1999年2月 『ロングマンActive Study英英辞典(3訂新版) 一使用の手引き』単著 桐原書店
- 1999年3月 『詩と現実を読む—リアルタイムズの世界』単著 三友社出版

## 〈教科書執筆〉

- 1985年4月 *My Way to English 1 & 2* 共著 一橋出版(文部省検定済)
- 1988年4月 *My Way to English 1 & 2* (改訂版) 共著 一橋出版(文部省検定済)
- 1994年4月 *Nach Deutschland* 共著 三修社(ドイツ語)
- 1996年3月 グリムを聞く—ドイツ語リスニング入門 共著 白水社(ドイツ語)

## 〈辞書執筆〉

- 1975年11月 旺文社英和中辞典 共著 旺文社
- 1986年10月 旺文社和英中辞典 共著 旺文社
- 1987年10月 旺文社サンライズ和英辞典 共著 旺文社

〈副教材・編注書〉

- 1974年1月 *The Cable Car and The Dragon* 単著 桐原書店  
1976年3月 *Teen-Agers Inside Out* 単著 桐原書店  
1977年3月 *Words and World 1・2・3* 共著 ほるぷ教育研究所  
1979年1月 *Helen Keller* 単著 桐原書店  
1980年2月 *Dove* 単著 桐原書店

(書評)

- 1980年2月 ビレーム・マテジウス著／千野・山本訳『マテジウスの英語入門—対照言語学の方法』三省堂(『新英語教育』第125号)  
1981年2月 田村泰著『ダイナミック英語教育』三友社出版(『新英語教育』第137号)  
1982年11月 C.ダグラス・ラミス著『フクロウを待つ—英語で考え、日本語で考える』晶文社(『新英語教育』第168号)  
1994年8月 長谷川清著『実る穂の—反骨英語教師50年』南信州新聞社(『新英語教育』第300号)  
1995年8月 小林信次・水内喜久雄編著『子どもといっしょに読みたい詩』(正・続)(あゆみ出版)(『新英語教育』第312号)  
1995年9月 米原万里著『不実な美女か貞淑な醜女(ブス)か』(徳間書店)(『新英語教育』第313号)  
1996年12月 新英語教育研究会編『生徒をはげます英語の授業と評価—「新学力観」をこえる理論と実践』三友社出版(『新英語教育』第328号)  
1997年7月 鴨下 昭著『第二芸術論と現代俳句』あしはらの会刊(『新英語教育』第335号)  
1997年8月 谷本誠剛著『物語にみる 英米人のメンタリティ』大修館書店(『新英語教育』第336号)  
1997年9月 室井美稚子／ミッシェル・ポッター編著『“OKINAWA” —イントロダクション・沖縄』三友社出版(『新英語教育』第337号)  
1997年10月 ネスコ編『教科書でおぼえた名詩』ネスコ／文芸春秋(『新英語教育』第338号)  
1997年12月 テリー・プラチェット／久賀宣人訳『死神の館』三友社出版(『新英語教育』第340号)  
1998年8月 レーナ・マリア著・ビヤネール多美子、瀬口巴訳『フット・ノート 足で書かれた物語』小学館(『新英語教育』第348号)  
1998年8月 柳沢民雄・菊池恵子・高木繁編著：THE WORLD HERITAGE、三友社出版(『新英語教育』第348号)  
1998年11月 定松 正編『世界・日本児童文学登場人物辞典』玉川大学出版部(『新英語教育』第351号)  
1998年12月 川澄哲夫編『資料日本英学史1 下—文明開化と英学』大修館書店(『新英語教育』第352号)  
1999年3月 百々佑利子著『児童文学を英語で読む』岩波書店(『新英語教育』第355号)

## (評論など)

- 1973年11月 「第2のdecadeへ向かって〈新英研第10回大会〉」(『新英語教育』第70号)
- 1975年2月 「教科書批判の研究会から」(『新英語教育』第78号)
- 1977年2月 「日本英語教育改善懇談会—アピール報告」(『新英語教育』第90号)
- 1977年12月 「ふつふつとたぎるもの〈新英研第14回大会〉」(『新英語教育』第98号)
- 1978年11月 「簡易化による弊害が」(『教育評論』11月臨時増刊号、通巻370号、日本教職員組合情宣局)
- 1978年12月 「若さと愛と創造で〈新英研第15回大会〉」(『新英語教育』第111号)
- 1979年2月 「英語の教育環境—改善懇アピールと現場での実感」(『現代英語教育』第15巻第11号)
- 1980年1月 座談会「岐路に立つ英語教育—80年代の課題をさぐる」(『新英語教育』第124号)
- 1980年12月 「20年のあゆみを刻んで〈新英研第16回大会〉」(共著)(『新英語教育』第123号)
- 1981年7月 座談会「高校新教科書『英語I』を検討する」(『新英語教育』第142号)
- 1981年12月 「水上でふれた心〈新英研第18回大会〉」(『新英語教育』第147号)
- 1982年12月 「ともに学びわかる喜びを〈新英研第19回大会〉」(『新英語教育』第159号)
- 1983年12月 「夾竹桃の花開き〈新英研第20回大会〉」(『新英語教育』第171号)
- 1984年12月 「みちのくに道光り〈新英研第21回大会〉」(『新英語教育』第183号)
- 1985年2月 「生徒の変化をのりこえるために」(『新英語教育』第185号)
- 1986年4月 てい談「生徒が輝く授業を」(『新英語教育』第199号)
- 1986年12月 「アイヌの心に学ぶ〈新英研第23回大会〉」(『新英語教育』第207号)
- 1989年10月 「高校におけるドイツ語教育」(『ひろの』29号、ドイツ語学文学振興会)
- 1989年12月 「新英研30周年を記念して〈新英研第21回大会〉」(『新英語教育』第244号)
- 1993年9月 「高校ドイツ語教育研究会の活動と課題」(『ドイツ語教育部会報』44号、日本独文学会教育部会)
- 1994年9月 「外国語教育の改善に関するアピール」(『高校ドイツ語教育研究会会報』第6号)
- 1998年6月 「高独研のあゆみと高校ドイツ語教育の課題」(『高校ドイツ語教育研究会会報』第10号)

## 《学会発表》

- 1984年8月 「授業記録ノートと父の日の手紙」 新英研全国大会(福島)
- 1984年11月 「授業への意欲をどうひき出すか」 東京新英研
- 1985年8月 「生徒がつくる英会話」 新英研全国大会(大阪)
- 1986年8月 「English for Juniors—ともに創る自己表現」 新英研全国大会(札幌)
- 1988年3月 「外国と日本の地域の歴史と文化を比較する英会話の実践」 東京新英研総会
- 1990年8月 「リアル・タイムズと大学生の自己表現」 新英研全国大会(岐阜)
- 1991年2月 「英詩の指導と大学生の自己表現」 新英研全国大会(長崎)

- 1993年12月 「高校におけるドイツ語教育の現状と問題点」日本英語教育改善懇談会 (東京)  
1994年 8月 「『母の日の詩』にみる学生・生徒の親の像」新英研全国大会 (姫路)

(講演など)

- 1985年11月 「子どもの力を伸ばす英語の授業」石川県高教組研究会 (金沢)  
1985年11月 「生徒の変化をのりこえるために」長野県教育研究会 (長野)  
1986年 1月 「*The English Window*と生徒が創る英会話」新英研関西ブロック研究会 (京都)  
1986年 6月 「授業入門—ともに創る授業を」東京都高教組研究会  
1986年 8月 「授業論—なぜ外国語を教えるのか」新英研全国大会 (札幌)  
1987年 4月 「*Helen Keller*—ことばへの開眼100周年にあたって」東京ヘレン・ケラー協会  
1988年 1月 「心にひびく英語の授業を創る」全道外国語教育研究大会 (札幌)  
1988年 3月 「英文自己表現学習について」千葉新英研 (柏)  
1988年 3月 「自主教材を使った授業」語学研究所春期研究会 (東京)  
1988年11月 「英作文・自己表現指導と添削のあり方」東北ブロック英語研究会 (仙台)  
1989年 2月 「若い先生たちへの英語の授業論と教師論」東京都高教組研究会  
1989年 3月 「教師とは? 授業とは?」埼玉新英研 (浦和)  
1989年12月 「学習意欲を育てる教材の作り方、扱い方」私学教育研究所 (東京)  
1991年 5月 「人間形成に寄与する外国語教育」山梨新英研 (甲府)  
1991年10月 「オーラル・コミュニケーションの指導」湘北英語教育研究会 (相模原)  
1991年10月 「変わりゆく外国語教育の中で」千葉高校英語教育研究会 (我孫子)  
1991年11月 「外国語教育と人間形成」山梨高教組研究会 (小淵沢)  
1992年10月 「英詩指導の意義」湘北英語教育研究会 (相模原)  
1993年 7月 シンポジウム「21世紀に向けて日本の英語教育はどうあるべきか」新英研全国大会 (東京)  
1993年10月 「国民教育としての高等教育」山梨新英研10周年記念総会 (塩山)  
1994年 1月 「『新学力観』批判—実践者の立場から」新英研関西ブロック研究会 (奈良)  
1994年 3月 「コミュニケーションと評価」千葉高教組研究会 (船橋)  
1994年 5月 「アイデンティティの確立と外国語教育」山梨高教組研究会 (石和)  
1994年 6月 「『新しい』学力観と評価」茨城新英研総会 (土浦)

《学会および社会における活動》

(所属学会での活動)

- 1969年～ 新英語教育研究会会員  
1974年～1988年 新英語教育研究会研究部長  
1980年～ 日本独文学会教育部会会員  
1982年～ 新英米文学研究会会員  
1988年～ 高等学校ドイツ語教育研究会会員  
1988年～ 新英語教育研究会副会長

- 1988年～1993年 高等学校ドイツ語教育研究会会長  
 1990年～ 日本グリム協会会員  
 1994年 日本イギリス児童文学学会会員

## (国際交流・研究調査旅行等)

- 1972年7月～9月 University of Texas at Austin (国際教育協議会研修旅行・英語教育およびアメリカ児童文学研究)  
 1980年7月～9月 Goethe-Institut: Prien-am-Kimsee and Berlin (ゲーテ・インスティトゥート奨学金によりドイツ語教育研修とグリム童話研究)  
 1983年8月 Hong Kong, Guang Dong and Guilin (視察旅行)  
 1985年7月 UK, Italy, Switzerland, Germany and France (児童文学資料収集)  
 1988年7月～8月 Language Theory Seminar at Münster University (言語学理論研究セミナー)  
 Study Research at Kassel, Berlin, Dresden, Weimar and Erfurt (グリムの足跡研究と東ドイツ視察旅行)  
 1991年7月～8月 Study Research at Stanford University (アメリカン・インディアン文化資料収集)  
 1992年7月 Study Research at Helsinki and Oslo Universities (北欧児童文学資料収集)  
 1993年8月～9月 Study Research at Trinity College and Limerick University (アイルランド文学研究)  
 1994年8月～9月 Study Research at Australian National University, Canberra and Melbourne University, and Christchurch in New Zealand (オーストラリア、ニュージーランド児童文学資料収集)  
 1995年3月～4月 Study Research in Spain, Portugal and UK (児童文学資料収集)  
 1995年8月 Leeds Metropolitan University(白梅学園短期大学海外語学研修学生引率)  
 この年度から白梅学園短期大学の海外語学研修が始まり英国のリーズ市にあるLeeds Metropolitan University で3週間余の研修に学生を引率した。95年度・96年度の実施報告を『白梅学園短期大学紀要』33号(1977年3月)に掲載。  
 1996年8月 Leeds Metropolitan University(白梅学園短期大学海外語学研修学生引率)  
 1997年8月～9月 Study Research in Germany, Hungary, Slovakia, Czech and the Netherlands (東欧児童文学資料収集)  
 1998年8月～9月 Study Research at University of British Columbia, Vancouver Public Library, Toronto Public Library and Toronto University (カナダ児童文学研究)

## (社会における活動)

- 1981・1985・1986年度 「大学入学者選抜試験問題作成の参考資料—学力検査問題作成の手引き」作成委員(文部省高等教育局)

- 高等学校側委員として、大学側委員と2名で、大学入学者選抜試験問題外国語科、全国の国公私立大学のドイツ語の全試験問題を検討し、次年度の問題作成のために、受験生に不適當な難問、奇問類をなくし、適正な問題作成のための講評、意見、示唆を執筆。
- 1982・1983・1988年度 「共通第一次学力試験の試験問題に関する意見・評価」作成委員 (大学入試センター)
- 高等学校側委員として、共通一次学力試験ドイツ語問題を検討し、適正な問題作成のための意見・評価を執筆。
- 1987年度～1989年度 「高等学校学習指導要領の改善に関する調査・研究協力者会議」委員 (文部省初等中等教育局)
- 高等学校外国語科ドイツ語の専門委員として『高等学校学習指導要領』作成に関して調査・研究を行い、生徒の実状に応じた『高等学校学習指導要領 外国語科ドイツ語編』案を起草・執筆。

(市民講座など)

- 1992年10月 「英語自己表現作品にみる生徒像」都立立川高等学校PTA集会  
英語による自己表現を研究し、実践してきたあゆみを振り返り、生徒の作品の父母への紹介ならびに、自己表現の意義について。
- 1994年10月 「多和田葉子の詩的世界」東京ドイツ文化センター  
ドイツでハンブルク文学奨励賞、シャミッソー賞などを受賞して活躍している芥川賞受賞作家多和田葉子のドイツ語による詩の朗読会で彼女の紹介ならびにその詩的世界について。
- 1995年6月 白梅学園短期大学教養講座「子どもたちの人間観—児童文学作品に見る」白梅学園短期大学  
児童文学の作品に表れた子どもたちの人間観の歴史をたどる。子どもは成長の過程で悩み、苦しんで人間とは何かを考え、自分を発見し、自分のアイデンティティを確立しようとする。最近の児童文学にはさまざまな社会の抱える問題や人間の死の問題を扱ったものも出てきている。このような子どもたちの人間観の変化と深まりについて考えた。
- 1998年6月 白梅学園短期大学公開講座「日本の外国語教育」白梅学園短期大学  
日本における外国語受容の歴史と明治以降の外国語教育の歴史を概観し、現在の問題点と今後の課題について、新しい時代に向かって生きている学生、生徒の声や自己表現作品を例示しながら論じた。